

# 里山里海の 再活性化と持続的発展に 果たす大学の役割

本年5月29日～31日まで石川県七尾市において、「世界農業遺産(GIAHS)国際会議」が開催されます。2011年6月に能登半島の「能登の里山里海」と佐渡市の「トキと共生する佐渡の里山」が同時にGIAHSに認定され、様々な動きが始まっています。また、今回の国際会議では日本からも新サイトの認定が予定されています。この機会に小規模でも実質的なサイドイベントを企画しました。

このセミナーでは、能登、佐渡及び新たに認定されるGIAHSサイトの持続的発展を支援するとともに、全国各地の里山里海の活性化を目指します。大学等の研究機関とともに、GIAHSサイトはじめ、地域の関係者の皆さまにも呼びかけ、GIAHSサイトと各地の里山里海の現状の分析(地域資源の豊かさ、過疎高齢化、獣害等の問題点)、大学の果たす役割、今後の支援の方向性等に関する情報交換とネットワークづくりを目指します。

開催日

5月27日(月)

▶ セミナー [午後1時～6時]

金沢大学地域連携推進センター 2F講義室

▶ 交流会 [午後6時～8時]

金沢大学角間ゲストハウス 1Fレセプションルーム

主催 ■ 金沢大学里山里海プロジェクト  
GIAHS地域・大学連絡会\*

共催 ■ 金沢大学能登オペレーティング・ユニット  
石川県立大学

国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

後援 ■ 石川県、世界農業遺産活用実行委員会

[参加大学・研究機関]

金沢大学、石川県立大学、新潟大学、宇都宮大学、東京農業大学、  
国連大学高等研究所、同いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット、  
総合地球環境学研究所等

[参加自治体ほか]

能登及び佐渡のGIAHS関連自治体、個人、団体等

\* 金沢大学では、2011～2012年度にかけて、石川県のファンドにより、能登地域GIAHS推進協議会(七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町)と「能登のGIAHS・大学協議会」を結成し、「世界農業遺産GIAHS「能登の里山里海」実施支援事業」を実施しました。この事業はことし3月末に終わりましたが、協議会を「GIAHS地域・大学連絡会」として再編し、支援事業を続けます。





# 里山里海の再活性化と 持続的発展に果たす大学の役割

## プログラム

- |                    |  |  |
|--------------------|--|--|
| 13:00-13:15        | 開催趣旨説明   | 中村 浩二 (金沢大学)   |
| 13:15-14:30 (各15分) | <b>第1部 日本のGIAHSを発展させるグローバル視点</b><br>日本におけるGIAHSの発展：大学の役割<br>日本の里山・里海評価(JSSA)と能登、石川での新たな展開<br>SATOYAMAイニシアティブの進展<br>多様な生態系サービスをわがまちあうローカルガバナンス構築<br>Mediatorとしてかかわる：設計科学の視点から         | 永田 明 (国連大学)<br>西 麻衣子 (国連大学)<br>市川 薫 (国連大学)<br>斉藤 修 (国連大学)<br>阿部 健一 (総合地球環境研究所)                                       |
| 14:30-14:45        | 休憩   |  |
| 14:45-16:30 (各15分) | <b>第2部 日本国内のGIAHSと大学の役割</b><br>能登GIAHSにおける地域住民と協働による自然環境調査<br>能登GIAHSと人材養成<br>文化資源学とGIAHS<br>佐渡の生物共生型農業：自然再生の視点から<br>佐渡GIAHSを発展・活用する人材の養成<br>里山を鳥獣害から守る人材の育成<br>東京農業大学による地域づくりと担い手養成 | 柳井 清治 (石川県立大学)<br>小路 晋作 (金沢大学)<br>野澤 豊一 (金沢大学)<br>西川 潮 (新潟大学)<br>大脇 淳 (新潟大学)<br>高橋 俊守 (宇都宮大学)<br>矢野加奈子・栗田和弥 (東京農業大学) |
| 16:30-16:45        | 休憩   |  |
| 16:45-17:55        | <b>パネルディスカッション</b><br>コーディネーター 中村 浩二 (金沢大学)<br>パネリスト 講演者から3名、自治体、農林業者、NPO等から2~3名   |  |
| 17:55-18:00        | まとめと閉会の挨拶  | 中村 浩二 (金沢大学)   |